

千家紀彦 せんだい 著述家。大正十二年朝鮮大邱生れ（一九四一）。筆名青柳淳郎。學務院中等科中退後、不良放浪十餘年。昭和二十六年府中刑務所出所後、新聞、雑誌記者を経て文筆生活に入る。

著書に『また明日またその明日』名門に泣く刑余者の純愛記録』（昭和二十八年九月十五日集英社）、『うんちんぐ&シーイング』（昭和四十五年一月十日芸文社）等。

